

阪神高速道路のアウトカム指標

お客様に安全・安心・快適な高速道路サービスを提供するために、渋滞の緩和等、事業による効果や成果のうち、数値化に馴染むものを対象に、次のとおりアウトカム指標を設定いたしました。(注1)

アウトカム指標	指標の説明	平成17年度末実績値	平成18年度末目標値
道路構造物保全率(橋脚補強完了率)(注2)	耐震補強が完了している橋脚基数の割合	97.7 %	98.6 %
道路構造物保全率(舗装)	路面のわだちやひび割れによる不快感が少なく、お客様が快適に感じる舗装の状態の割合(注3)	99.1 %	99.2 %
年間事故率(注4)	走行車両1億台キロあたりの死傷事故率	29.1 件/ 億台キロ (注4)	27.2 件/ 億台キロ
工事渋滞損失時間(注5)	工事に起因する渋滞が発生することによるお客様の損失時間	15.2 万台・時/ 年	16.1 万台・時/ 年
路上工事による車線規制時間	路上作業を伴う工事の年間の交通規制時間	135 時 / km	138 時 / km
本線渋滞損失時間(注5)	渋滞が発生することによるお客様の損失時間	553 万台・時/ 年	520 万台・時/ 年
ETC利用率	ETC利用可能料金所通行台数に対するETC利用台数	57 %	90 %
顧客満足度	走行性の確保、美観・景観の確保、情報提供・案内確保など、お客様の立場から見た道路の快適性に関して望む度合い(5段階評価)	3.0 ポイント	3.2 ポイント

- 注 1) これらの指標や目標値については、お客様の声や現在実施している管理コスト削減の状況等を踏まえて、適切に見直してまいります。
- 2) 耐震補強の対象は、昭和55年より前の基準(道路橋示方書)により建設された橋脚です。
- 3) 路面特性を表すひび割れ率、わだち掘れ深さ、縦断凹凸(平坦性)の3つの要因を組合わせた指標MCI(維持管理指数)が4.0以上の延長の割合で表しています。
- 4) 事故率の算出の元となる事故件数は、警察統計を使用しています。
- 5) 工事及び本線の渋滞損失時間は、走行速度が渋滞基準速度(30km/時)を下回った時間を累計しています。